

9月4日(金曜日)「12使徒の選び」

【新改訳 2017】

ルカ 6.12-19

「夜明けになって、弟子たちを呼び寄せ、その中から12人を選び、彼らに使徒という名をつけられた。」(13節)

主イエスは、徹夜の祈りの後に、弟子たちの中から12人を選び出して「使徒」とされました。「使徒」とは「使者」のことであり、ここでは特別に主の大切な使命を帯びて派遣された人たちです。

まず、これは主ご自身の一方的な選びでした。そして、よく見るとわかるように、みな普通の人たちでした。性格や立場は正反対のような人も含まれています。収税人マタイと熱心党员シモンがその例です。しかし、彼らはイエスに出会って変えられ、1つの「選ばれた者たち」の一員とされたのです。「12人」はイスラエルの12部族に対応して、新しい神の民の代表を意味しているようです。主は御国のわざを人間を通して進めようとされました。この後、70人の弟子たち、そしてすべての使徒たちが用いられるよ

うになったのです。私たちは主の弟子なのです。

～祈り～

主よ。このような者も弟子の1人としてくださり感謝します。どうか、少しでも良い弟子(使徒)となれますように助けてください。

【学びのために】

使徒について:使者、特別な使命を帯びて派遣された者などの意味。主によって直接選ばれ、キリスト・イエスの生涯の目撃者かつ証人として活躍。福音の宣教と使徒の教育、教会の指導にあたりました。1 ペテロ2.9、10参照。